この資料は、国主催「令和元年度主任相談支援専門員養成研修」資料および
障害者相談支援従事者研修テキストを参考に石川県版に改変したものです。

令和8年度富山・石川・福井主任相談支援専門員研修

# 地域援助の具体的展開
## ～演習の部～

越前町相談支援センターさざんか
渡邉　智恵子
石川県相談支援専門員協会
能勢　三寛

令和8年11月16日

# 振り返りノートの記入

# 本演習のねらい

- 協議会を活用した地域課題の把握方法、地域づくりに向けた具体的な取り組み内容等に係る必要な知識・技術を習得する。

# 学習のポイント

- コミュニティソーシャルワーク
- 地域支援における協議会運営の機能と運営方法
- 地域住民や地域組織及び関係行政機関との関係構築方法

# 演習４　全体の流れ

- 演習４－１　自立支援協議会「ボトムアップ型」の運営の演習
- 演習４－２　自立支援協議会「ブレイクダウン型」の運営演習
- 演習４－３　地域援助の具体的展開についての振り返り

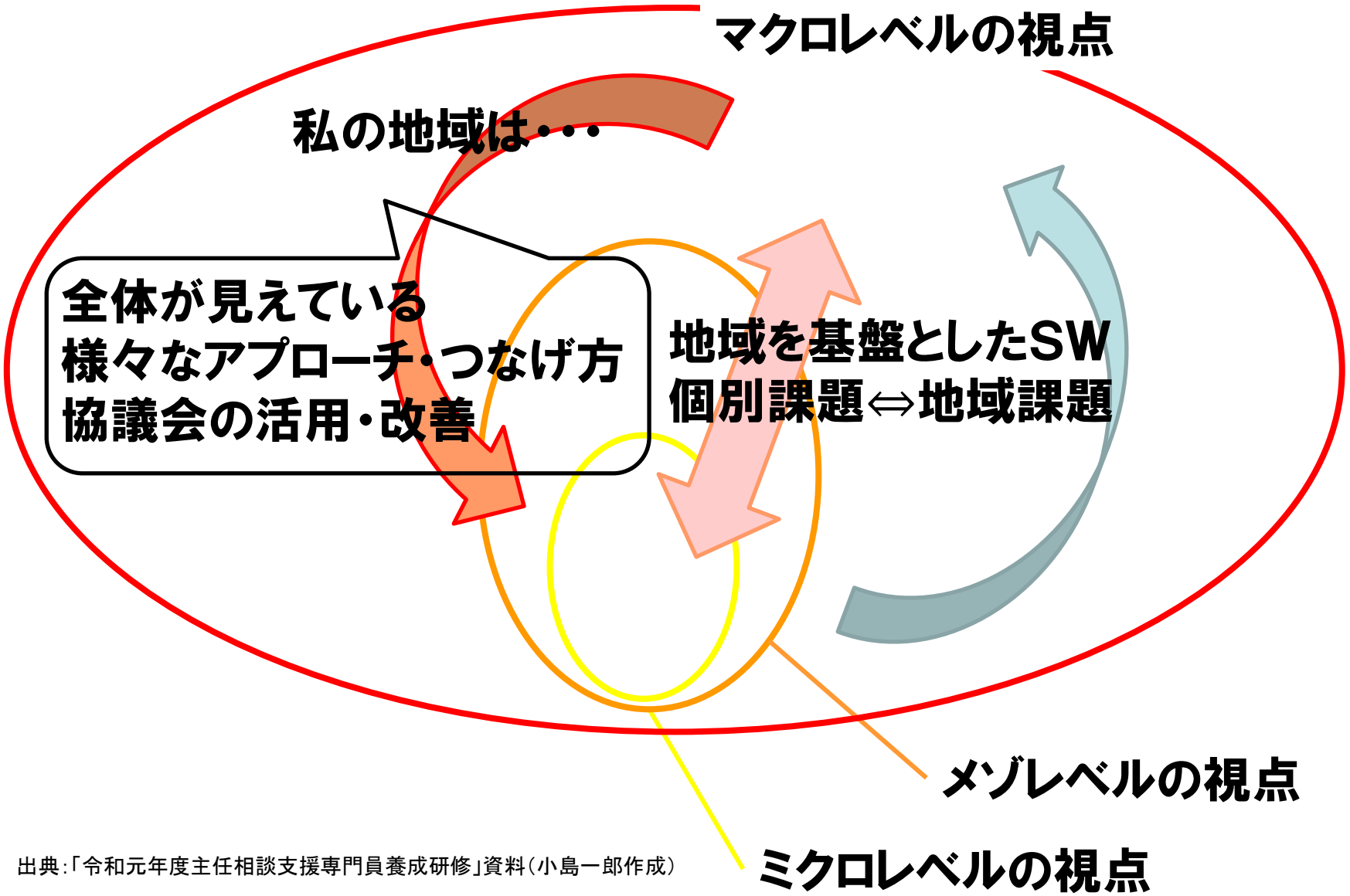
# 演習４－１　地域課題の解決に向けたプロセス「ボトムアップ型」

# ４－１演習の流れ

４日目

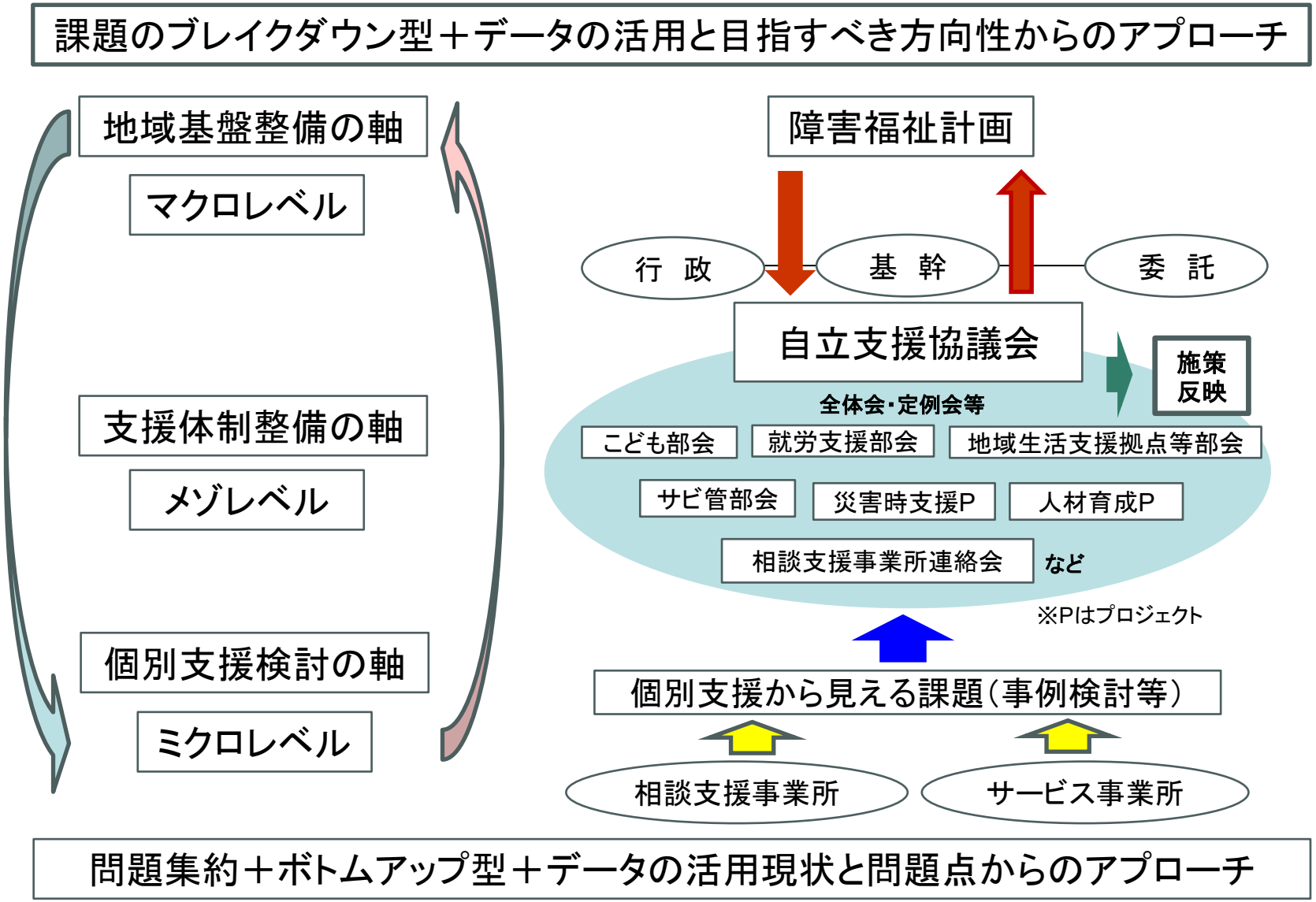
| 時　間 | 内　容 |
| --- | --- |
| 15:05～15:15 | 導入 |
| 15:15～17:40 | 演習4-1 |

図1　地域福祉の視点




出典：「令和元年度主任相談支援専門員養成研修」資料（小島一郎作成）

図2　自立支援協議会の運営の例




出典：「令和5年度埼玉県主任相談支援専門員養成研修」資料（吉澤久美子作成）を一部改変

# ①演習スケジュールの説明　５分

# ４－１演習スケジュール

- ①演習スケジュールの説明（５分）
- ②演習事例の説明（５分）
- ③グループワーク（30分）：事前課題の共有
- ④グループワーク（10分）：地域課題の整理・選定
- ⑤グループワーク（60分）：課題解決に向けた取り組み
- ⑥グループワーク（10分）：演習４－１の振り返り
- ⑦全体共有

# 演習４－１　演習用資料

- 事前課題1【地域援助の具体的展開】256頁

- 資料①演習事例（個別課題を地域課題へ）
  258頁

- 資料②ワークシート1（選定した地域課題）
  259頁

# ②演習事例の説明　５分

テキスト
258頁

演習用資料

資料①演習事例（個別課題を地域課題へ）

| | |
|---|---|
| 事例の概要 | Aさん（46歳、女性）、精神保健福祉手帳1級、障害支援区分4<br>居宅介護サービス利用、単身生活、障害年金と貯金で生計。<br>Aさんは、孤独感や不安感が強く、対人関係が苦手でひきこもりがち。お菓子づくり、料理、編み物が得意。<br>両親は、世間体を気にして医療サービスしか利用してこなかった。両親が亡くなり単身生活となった際に、叔母が市の福祉課に相談に行き事例化した。<br>Aさんの希望は、「自分を助けてくれる人がほしい」「自分ができることで人に喜んでもらいたい」「障害のある人ばかりが集まる場所には行きたくない」。<br>地域の状況としては、健康づくりに熱心に取り組んでいるが、精神保健、精神障害への理解は進んでいない。<br>担当の相談支援専門員は、精神障害のある人の支援の経験が少なく、Aさんにどのようにかかわればいいのか悩んでいる。 |
| 地域課題 | ❶住民の精神保健、精神障害への理解が進んでいない。そのため両親が相談できなかった。<br>❷だれでも参加できるサロンが少ない。<br>❸支援経験の少ない相談支援専門員への助言指導の体制がない。<br>❹潜在的な要支援者を把握する仕組みがない。 |
| 地域資源の創出 | ❶➡保健センターに健康づくり事業のなかで住民に向けた心のサポーター（＊）養成事業を行うことを働きかける。<br>❷➡心のサポーターを中心とした地域サロンをつくる。<br>❸➡相談支援専門員の資質の向上を図る研修会の実施。<br>➡主任相談支援専門員によるOJT体制をつくる。<br>❹➡医療機関と相談支援事業所の連携を強化する。<br>➡地域生活支援拠点と連動し、潜在的な要支援者を把握する仕組みをつくる。<br><br>＊心のサポーターとは、メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解をもち、地域や職域でメンタルヘルスの問題を抱える人や家族等に対して傾聴を中心とした支援ができる人のことを指す。国は、2024年から10年間で100万人のサポーターを養成することを目標としている。 |

# ③グループワーク　30分

# 事前課題の共有

# 令和６年度相談支援従事者主任研修　事前課題１
## 【地域援助の具体的展開　演習４－１】

現在、支援を展開しているケースから事例を選定し、地域課題を３つ以上抽出してください。

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

| | |
|---|---|
| 事例（例） | Ａさん（46 歳、女性）　精神保健福祉手帳１級　　障害支援区分４<br>居宅介護サービス利用、単身生活、障害年金と貯金で生計。<br>Ａさんは、孤独感や不安感が強く、対人関係が苦手でひきこもりがち。お菓子づくり、料理、編み物が得意。<br>両親は世間体を気にして医療サービスしか利用してこなかった。両親が亡くなり単身生活となった際、叔母が市の福祉課に相談に行き事例化した。<br>Ａさんの希望は、「自分を助けてくれる人がほしい」「自分ができることで人に喜んでもらいたい」「障害のある人ばかりが集まる場所には行きたくない」。<br>地域の状況としては、健康づくりに熱心に取り組んでいるが、精神保健、精神障害への理解は進んでいない。<br>担当の相談支援専門員は、精神障害のある人の支援の経験が少なく、Ａさんにどのようにかかわっていけばいいのか悩んでいる。 |
| 地域課題 | ①　住民の精神保健、精神障害への理解が進んでいない。そのため両親が相談できなかった。<br>②　だれでも参加できるサロンが少ない。<br>③　支援経験の少ない相談支援専門員への助言指導の体制がない<br>④　潜在的な要支援者を把握する仕組みがない。 |
| 事例 | 年齢：　　性別：　　障害名：　　手帳：　　障害支援区分：<br>利用福祉サービス：<br>事例概要：<br>ニーズ：<br>※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 | ①<br>②<br>③ |



テキスト
256頁

# ④グループワーク　10分

# 地域課題の整理・選定

テキスト　259頁

資料②ワークシート1（選定した地域課題）

| 【グループで選定した地域課題】 | |
|---|---|
| | |
| 【地域資源の創出のための取り組み、工夫】 | 【自立支援協議会運営の取り組み、工夫】（部会・プロジェクトの活用） |
| ミクロレベル | |
| メゾレベル | |
| マクロレベル | |

# ⑤グループワーク　60分

# 課題解決に向けた取り組み

# ⑥グループワーク　10分

# 演習４－１の振り返り

# ⑦全体共有　15分